

行財政・医療福祉対策特別委員会

- 1 開催日時 令和8年5月25日（月） 10時01分～12時21分
- 2 開催場所 第三委員会室
- 3 説明員 総務部長、健康医療福祉部長、子ども若者部長、病院事業庁長および関係職員

4 議事の概要

(1) 付議事件に係る関係部局の取組について

①令和8年度における行財政運営の取組について

委員からは、施設の更新・改修に当たっては、福祉避難所としての活用も見据え、ユニバーサルデザイン化を推進するとともに、将来的な施設の集約化や用途転換にも対応できる整備としてほしい、選択的週休3日制フレックスタイム制について、現場の声も踏まえ、様々な職種で取得できるよう取り組んでいただきたいなどの意見が出された。

②令和8年度における県立総合病院の取組について

委員からは、特定の選択肢ありきではなく、予断を排ししっかりとした検討をお願いしたいなどの意見が出された。

③医療福祉体制の充実に向けたひとつづくりについて

委員からは、人材不足の解消に向けては、人材確保だけでなく離職防止にも取り組むことが重要であること、職業や職場に潜むジェンダー課題への対応が働きやすい職場環境の整備にもつながるなどの意見が出された。

(2) 委員会の運営方針について

今年度の重点調査項目は、「持続可能な行財政基盤の確立について」「将来を見据えた総合的な医療福祉体制の充実と専門人材の育成について」「地域医療を担う県立総合病院の持続可能な経営の在り方について」の3項目とされた。

運営方針については、「執行部から説明を求めるほか、可能な限り、行政調査、県民参画委員会および参考人からの意見聴取等を実施することにより、多面的な調査を行う。」とされた。



委員会に配付された資料

- ・資料 1－1 令和 8 年度における行財政運営の取組について
- ・資料 1－2 公共インフラの整備・維持管理について
- ・資料 2 令和 8 年度における県立総合病院の取組について
- ・資料 3－1 医療福祉体制の充実に向けたひとづくりについて
- ・資料 3－2 保育人材の確保・育成に向けた取組について